

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	5	事業名	館山港海岸環境整備事業			路線又は箇所名等			館山地区	
事業所管課		港湾課			事業主体			千葉県		
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	-		工事着手年度	平成6~	再評価 の理由			
					工事終了(認可)年度	29年度				
費用便益比 B/C	4.6	総費用	76 億円	総便益	351 億円	基準年	平成19年度	供用開始 年度	平成7年度	

【事業概要】

高潮に対する被害を防止するため、海岸保全施設の整備を図る。

突堤	4基
護岸	1,580m
人工海浜(養浜)	50,000m ³
植栽	21,430m ²
遊歩道	19,270m ²

【事業の進捗状況】

事業の進捗および事業費の状況は下表の通り。

年度	整備項目	事業費	進捗率
平成5~18年度 (投資済)	突堤・人工海浜(養浜)・ 植栽・護岸・遊歩道	2,043,300千円	26.2%
平成19年度以降 (予定)	突堤・人工海浜(養浜)・ 植栽・護岸・遊歩道	5,759,700千円	-
全体事業費		7,803,000千円	-

【社会経済情勢等】

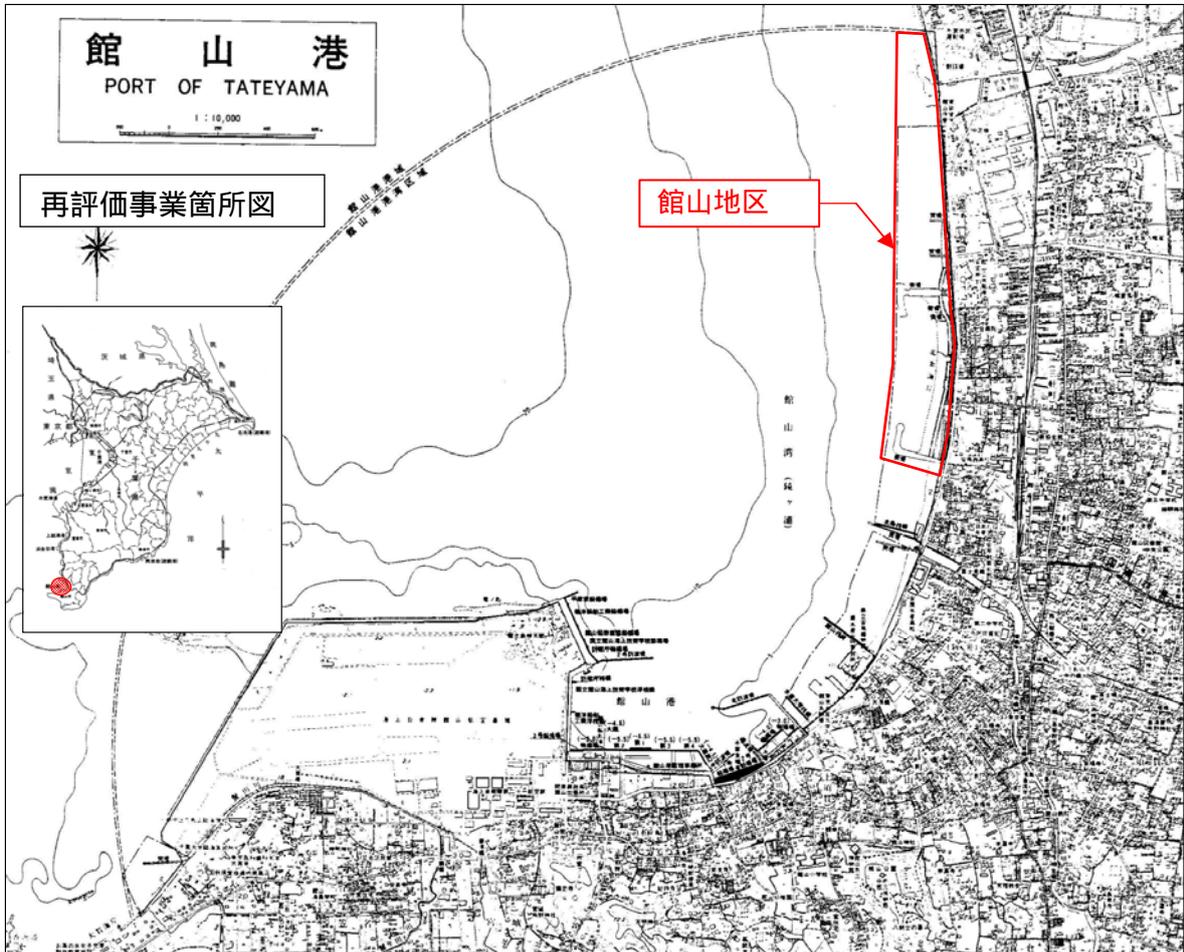
当海岸は、高潮に対する海岸保全施設の整備が完了していないため、早急に整備を行う必要がある。
また、当海岸周辺は、東京湾横断道路、東関東自動車道の整備により館山港海岸のポテンシャルが一層向上しているものと考えられることから、地域に生活している人及び当地を訪れる人にとって魅力のあるリゾート地域の形成を図る必要がある。
なお、事業実施にあたり、地元、利用者等の意見を聞き、取り入れながら実施をしていく必要がある。

【対応方針(案)】

当海岸は、高潮に対する海岸保全施設の整備が完了しておらず、高潮が発生した場合の被害が大きく、早急な整備を要すること。
また、ちば2007アクションプランの「戦略プロジェクト2 観光立県千葉の実現」の中で、魅力ある海岸づくりとして当海岸の整備が位置づけられており、地元館山市から早期完成の強い要望があることなどから引き続き事業を継続したい。

事業概要図

番号	5	事業名	館山港海岸環境整備事業	路線又は箇所名等	館山地区
----	---	-----	-------------	----------	------



館山港海岸環境整備事業区域図

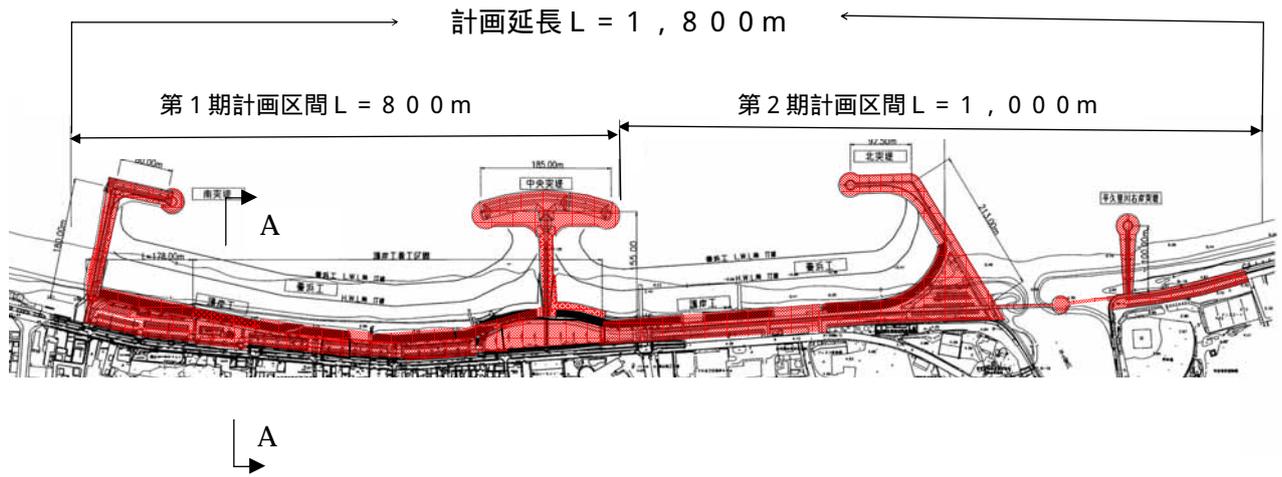


【別紙様式 4】

事業概要図

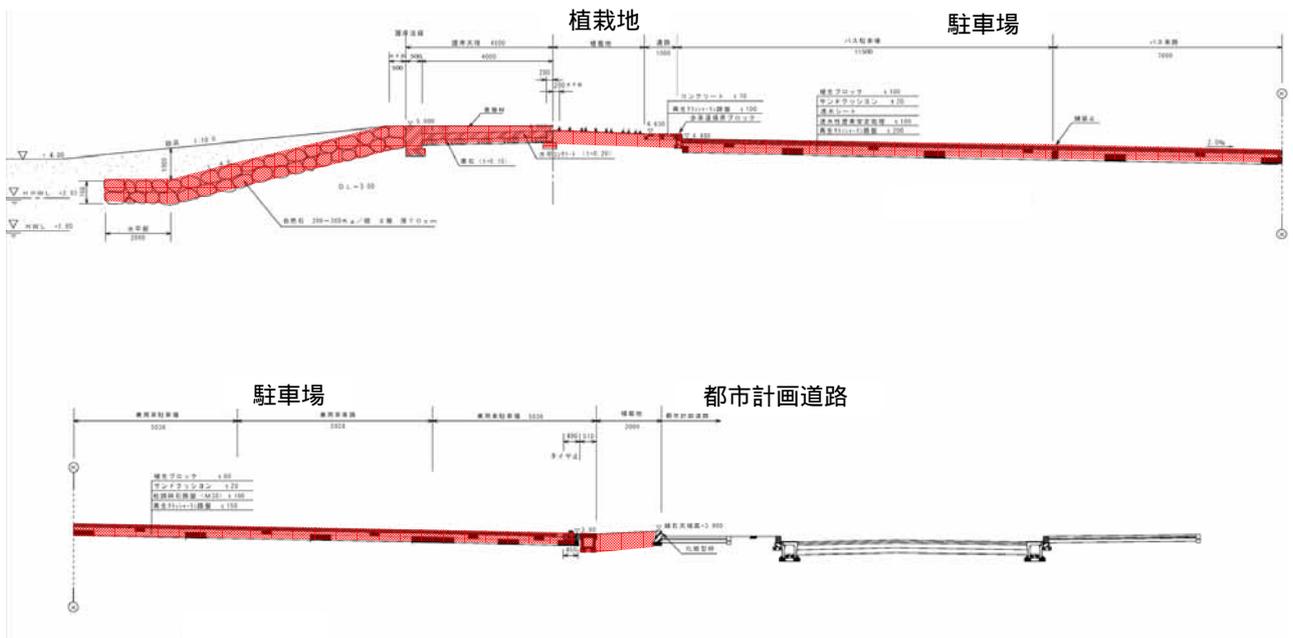
番号	5	事業名	館山港海岸環境整備事業	路線又は箇所名等	館山地区
----	---	-----	-------------	----------	------

全体平面図



標準断面図

A - A



再々評価事業に関する調書

番 号	5	事 業 名	館山港海岸環境整備事業	路線又は箇所名等	館山地区
事業化年度	平成 5 年度	用地着手年度		工事着手年度	平成 6 年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 14 年度	供用開始年度	平成 7 年度	対応方針	継続
B / C	2.3	総費用	65 億円	総便益	151 億円

再評価時の委員会の意見及び当時の状況

早期に効果が発揮できるよう、地元と調整を図りながら重点的な整備を行うこと。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況
全体事業費	78.0 億円	16.6 億円 (21.3%)	28.7 億円 (36.8%)
用地取得面積			
供用面積 (延長)	1.8 km	0.3 km (16.7%)	0.8 km (44.4%)

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 19 年度	供用開始年度	平成 7 年度	対応方針	継続
B / C	4.6	総費用	76 億円	総便益	351 億円

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	78.0 億円	20.4 億円 (26.2%)
用地取得面積		
供用面積 (延長)	1.8 km	0.7 km (38.9%)

再評価後の経過及び処理状況

- ・再評価時の翌年度からの事業費は、近年の財政状況の影響から予定した予算額を下回る結果となっている。
- ・第 1 期計画区間 (L = 800 m) は、突堤、護岸、人工海浜 (養浜) 等が概成し、現在は護岸背後の遊歩道等の整備を進めており早期に完了させたい。
- ・背後の現況地盤高さを詳細に調査した結果、再評価時に想定していた浸水区域がより背後まで及んだため浸水防護便益が増加し B/C が再評価時に比べて増加した。